

(別紙2(2))

事業所名 NPO法人リアル・リンク京都・走和の郷

目標達成計画

作成日： 令和3年12月6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	10	利用者・家族の意向反映が基本となるが、代弁者の 家族の意向が主体となってしまう状態が多い。昨年より続くコロナ禍で、本人家族共同の機会が減っていた為、本人の思いに沿った生活を支えていく事にも支障が変わらず感じる。	本人・家族の意向を第一に支援を行う。	・営推進会議やS担が随時行えない場合、本人には意向確認を直接行い、家族には面会時やお手紙等で意向確認等行う。カンファレンスをお手外形式で交付し、意向等の新たなやりとりを行う。・本人と寄り添い意向や思いを確認する時間確保をチームケアとして行う。	6ヶ月
2	40	食事は副食を外部委託しており管理栄養的には良好だが、あまり外出等できないなか唯一の楽しみである食事を楽しく召し上がる工夫が継続的に必要と感じる。	食べる事を楽しむ為に継続的な相違工夫対応を行う。	・食事に関して週1回程度ご利用者からの聞き取りを行い、副食提供業者に参考意見として伝える。改善等について、職員業者とが共同作業を行う。・行事食も季節感や本人家族の意向を随時取り入れる事を周知徹底して行う。	12ヶ月
3	13	昨年より人材育成について、法人及び事業所として取り組んでいる。より良い事業所とレベルアップにより一層の職員の育成が必要。	研修体制の充実化及び学ぶ意識を指導し、GHで多様なサービスを取り入れていく事で相乗効果を促す。	・他者との参加型研修やコロナ禍でも随時オンラインの活用等考え学ぶ機会を多く提供する。参加者は事業所での伝達研修を行う事で、自らの学びを深めるよう指導する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。